

■清泉女学院大学の教育研究上の目的

「清泉女学院大学学則（抜粋）」

（目的及び使命）

- 第1条** 本学は、教育基本法に則り、学術研究を深めると共に、キリスト教の精神に基づく全人教育を教育理念として、知的及び道徳的に高い見識と広い教養を養い、弛まぬ自己開発を通して文化の向上と社会の福祉のために貢献しうる人人を育成することを目的とする。
- 2 本学は、共生の精神を教育の基盤として、心の問題への取り組みを通して他者のために自分を役立てる人人の育成を使命とする。

■人間学部の教育研究上の目的

「清泉女学院大学学則（抜粋）」

（学部、学科及び学生定員）

第4条 本学に、人間学部を置く。

- 2 前項の学部置く学科及び学生定員は、次のとおりとする。

学 科	心理コミュニケーション学科	文化学科
入 学 定 員	48名	32名
収 容 定 員	192名	128名

- 3 人間学部は、本学の目的、使命を果たすために、本学の建学の精神である「キリスト教（カトリック）ヒューマニズム」に基づき、教養を重視した全人教育を通じて、幅広い教養と人間学領域の学知・技能を教授し、コミュニティとともに生き、常に自らを高め、共生のこころをもって、他者のために考え、行動し、地域と世界に貢献できる情操豊かな人人を育成することを目的とする。

■心理コミュニケーション学科の教育研究上の目的

心理コミュニケーション学科は、コミュニケーションを共通項に、心の働きを理解し、コミュニケーションを通じた共生関係を積極的に形成し、地域や社会での諸問題を解決する能力を有する人材を育成することを目的とする。

■文化学科の教育研究上の目的

文化学科では、養成する文化学分野に関する教育研究を通して、「文化に関する諸学の幅広い知識と自らが帰属する社会、地域、共同体の多様性・多元性の正しい理解に基づき、行動力をもって文化の諸活動を主体的に行い、文化の創造に貢献できる人材を養成する。」ことを目的としている。

また、養成する人材像として「グローバルな視野のもと、我国や地域の文化に関する幅広い知識や理解を身につけ、PBLを重視した教育により文化資源の活用や文化活動の企画・運営に関するプロデュース能力を修得するとともに、豊かな人間力や高い見識と広い教養を涵養する。」こととしている。